

森のおくりもの12月



エナガ（エナガ科）



今年も残すところあとわずかとなりました。皆様には、どんな一年だったのでしょうか。太白山のふもとの雑木林は、木の葉がほとんど落ちて、冬の装いになりました。明るくなった林の中では、寒くても変わらず活発なもの、春までじっとして寒さや天敵から身を守るものなど様々な生き物たちの冬を過ごす姿が観察できます。そのような生き方をするようになった長年の進化に思いをめぐらせてみませんか。 【写真・文 早坂 徹】

赤い実がいっぱい イイギリ



冬、葉が落ちても赤い実はつけたまま残っている様子が、天然のクリスマス飾りがついている木のようにも見え、遠くからでも目立つイイギリ。この実を食べた事のある方はいますか？なぜ、いつも遅くまでのこっているのかうなずけるとおもいますよ。ですが、今年は、他の木の実が少ないからなのか、11月半ばからヒヨドリが集まって実を食べるようになり、**であいの道**のイイギリは、まだ葉が残っているうちに実がほとんどなくなってしまいました。

やすらぎの道から遠くの方に見えるイイギリは、まだ実を残していましたよ。双眼鏡で探してみてください。白っぽい樹皮が目印です。

ハートの形？をしている大きな葉は、昔ご飯を包んだことから「飯桐」という名がついた。「桐」は材がキリの代用として使われたことから。

葉



実

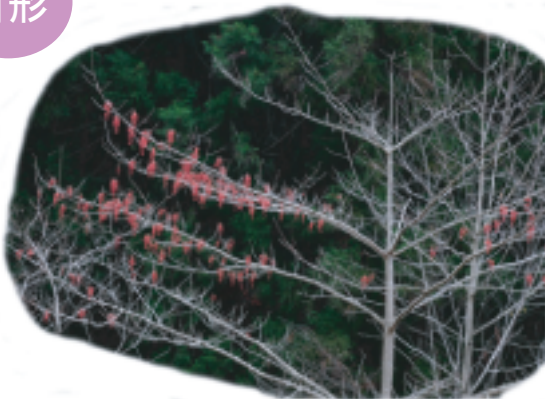
赤い実が、ぶどうの房のように垂れ下がる様子が「ナンテンの実」に似ているので、**ナンテングリ**の別名もある。

この森で実を食べるのは主に**ヒヨドリ**

樹形

太い枝が、一か所から放射状に生えるので、真下に立って上を見上げるとおもしろい。

遠くからみると白い樹皮が目立ち、魚の骨みたい。



●雌雄異株で、5月に黄緑色のよい香りがする花を咲かせます。咲き終わり、下に落ちてしまった花もよい香りがしますよ。

12月の生物ごよみ

12月初めから3月末までセンター裏庭にバードテーブルを設置します。研修室からゆくっりとお茶でも飲みながら観察できますので是非お越しください。

バードテーブルの様子

センター裏に設置したバードテーブルの様子です。去年は全部イノシシに倒されてしまったので、また新しく作り直しました。今年は倒されないことを願います。



← 研修室の右側の窓からも観察出来るように2つのバードテーブルを設置しました。

バードテーブルにやってくる野鳥たち

ほかにもいろいろな野鳥たちが集まってきますよ！

ヤマガラ



14cm/ 留鳥

オレンジ色のお腹が特徴。ヒマワリを両足ではさみ、くちばり割って食べる。

シジュウカラ



15cm/ 留鳥

胸の黒い筋が特徴。オスはメスより太い。ヒマワリを食べる。

ヒヨドリ



28cm/ 漂鳥
留鳥

バードテーブルを占領し、他の鳥を追い払うこともある。

アオジ



16cm/ 漂鳥
留鳥

バードテーブルにはのらず、地面にまいたエサをついばんで食べる。数匹でやってくる。

【レンジャー：齋 正宏】

※漂鳥 暑さや寒さを避けるため夏は山地、冬は平地というように繁殖地と越冬地を区別して日本国内を季節移動する鳥。
※留鳥 年間を通して同じ場所に生息し、季節による移動をしないもの。



レンジャーの森の雑記帳



観察センターには大きな水槽があって、私がここに勤務する以前からキンブナが棲み展示されていました。園内のカモの池から採取されたというキンブナを、毎日餌をやりながら見ていると、水槽の中にもひとつの社会があり、世界がありました。おそらく偶然に一緒になったと思われる2匹のキンブナは性格にも違いがあって、大きなキンブナは行動的で物怖じせず活発な感じ、もう一方のキンブナは慎重派でちょっと臆病だけれど落ち着いた感じもします。センターに遊びに来る子どもが、途中からドジョウも何匹か入れてくれたので水槽の住人はさらに増え、キンブナたちはすんなりとそんな新参加者を受け入れ、水槽自体にまるで小さな地域コミュニティが生まれたようでした。お互いに種を超え、餌を奪い合ったりすることなく、離れたり寄り添ったりして穏やかに暮らす様子に気持ちが和みます。たぶん自分の家にこの水槽があったら、冬の休日はコーヒ一片手にずっと眺めているような気がします。

水槽の様子を見て、なぜ自分自身が癒されるのかは何となく解っています。それはキンブナやドジョウが、他者の存在を認め、干渉はしなくても伸びやかに生きているように見えるからです。人とは違う種の多様性の自由奔放さをそこに感じてしまうのです。



狭い空間ではあるけれど、硝子で囲まれた外界から見ているのはキンブナと私とどちらだろう？と思ったりもします。きっとそんな時はキンブナたちと寄り添う自分が現実の世界を覗いているのかもしれない。

【レンジャー：阿部正明】



仙台藩の御裏林として 守られてきた森の木



モミは仙台と深く関わりのある木です。観察の森を含め、青葉山や鉤取山、蕃山など市内の身近な森にはモミが沢山自生しています。

仙台藩のお家騒動を題材とした山本周五郎の小説「縦ノ木は残った」の縦（モミ）は、正に伊達家の象徴として表現されたものと言えるでしょう。

仙台市は気候的には、暖温帯と冷温帯の推移地域（中間温帯）になります。この中間温帯の植相としてモミとイヌブナの極相林（※1）が形成されるのです。

仙台藩では青葉城の御裏林として青葉山や鉤取山に山守をおき、厳重な保護と監視を行ってきました。それが現在も東北大学植物園、鉤取山国有林として原生林に近い状態のまま残り、モミやイヌブナを主とした林が見られるわけです。

11月に行われた「鉤取山ネイチャーウォキング」で一番大きいと思われるモミ（右写真）の幹周を測ったところ3m60cmありました。詳しい樹齢はわかりませんがおよそ200年から300年だと思われます。

有史前の仙台はきっと青葉山や鉤取山のような森だったにちがいありません。鉤取山のモミを見上げながら、ちょっとだけタイムスリップ気分になるのも面白いかもしれません。

- ・日本特産の常緑針葉樹
- ・本州から屋久島まで分布
- ・若木では葉先が二股に分かれてとがる。
- ・葉の裏に淡く白い気孔帯がある。
- ・若木の樹形は円錐形で美しくクリスマスツリーに使われる。
- ・材は高級棺となる



●日本初のクリスマスツリー●
1860年プロシヤ王国（※2）の使節オイルブルクが公館に初めて飾った。1874年には原胤明（はらたねあき）により築地大学（明治学院の前身）で行われたクリスマスパーティに日本初のツリーとともに登場している。



観察の森ではこの時期毎年盗難事件が起こります。園内のモミを勝手に伐採して持ち帰るのです。おそらくクリスマスツリーにするのでしょうか。窃盗犯は休館日の月曜日を狙って犯行に及びます。みなさん犯人を見かけたら110番通報をお願いします。

【レンジャー：遠藤和子】

※1 極相林とは、群落全体で植物の種類や構造が安定し大きく変化しなくなった森林。

※2 プロシヤ王国とは、18世紀から20世紀初めにかけて現在のドイツ北部からポーランド西部を領土とした王国



のイベント&お知らせ

◆おはよう野鳥かんさつ

・講師の案内で、冬の森に暮らす野鳥の声と姿を探しませんか？

【日 時】12月17日(土) 7:00~8:30

【定 員】なし【持ち物】歩きやすく暖かい服装、観察用具

【申込み】不要(直接センター前へお越し下さい。)

☆双眼鏡の無料貸出あり!
※ご本人様を確認できる書類(免許証など)を確認させていただきます。

◆木の実のオーナメントづくり

・松ぼっくりや木の实などを使い、すてきなクリスマスの飾りを作ります。

【日 時】12月18日(日) 13:30~15:30

【定 員】15名〔先着制 電話受付〕

【費 用】100円(材料費)

【持ち物】動きやすい服装、ビニール袋、飲み物、雨具

【申込み】12月7日(水) 午前9時から電話で自然観察センターへ



◆12月から野鳥のレストランをひらきます!

・12月1日(木)から野鳥のための餌台を設置します。

あたたかい部屋の中からゆっくり野鳥観察しませんか?



◆12月~3月のガイドウォークは午前だけの開催になります。

・開催時間: 10:00~11:30 お間違いのないようお越し下さい。

毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

テーマ: 落ち葉を踏みしめて

12月の開催日は

4日、11日、18日、25日です。

※25日は「館長と森を歩こう」になります。

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

今月の展示コーナー

- ・落ち葉で遊ぶ
- ・冬芽を観察してみよう
- ・カエデの種を飛ばしてみよう
- ・成虫で冬を越す蝶
- ・冬の森で見られる菌



12月の休館日

5日、12日、19日、26日
【年末年始】
28日(水)から1月4日(水)まで休館します。

♪森へおいでください♪



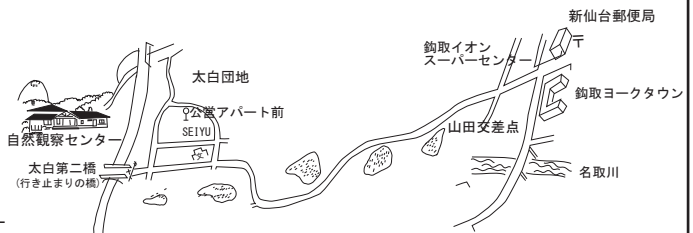
宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前または
八木山動物公園駅6番から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」
バックナンバーはWebでチェック!

2016年12月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakan_moushikomi@sendai-green-association.jp

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakan/index.html>